

小浜線

free magazine Obamasen



赤レンガ倉庫と港周辺
敦賀まち歩き

2015-16
vol. 04
WINTER
TAKE FREE

ローカル線でいく若狭路のまち

小浜線でいく、 若狭路のまち。

小浜線は、敦賀から東舞鶴までの全長84.3kmを約2時間で結ぶ路線です。海に沿って走る電車の窓からは、若狭の海の風景を思う存分眺めることができ、上中駅周辺では、どこまでも続く緑の田園と山の景色が堪能できます。

この線は多くの海水浴場や三方五湖、国宝明通寺、名勝蘇洞門などの観光地を通り、観光路線としての楽しみもあります。また、その一方で沿線の通勤・通学路線として多くの地元住民に親しまれています。

旅の目的地へ向かう手段は様々ですが、電車ならではの楽しみ方が、実はまだまだ沢山あるはず。ローカル線にゆられて若狭のまちをのんびりゆったりとめぐる旅、そこにはきっと素敵な出会いがあるでしょう。

期間限定
ラッピング
列車です!

contents

特集 敦賀まち歩き…03

Special 小浜線鉄道遺産…07

Station 山小屋の駅 —青郷駅—…09

Gourmet 駅グルメ [アンティークカフェあさい] …11

Topics ラッピング車両が登場!…12

Map 小浜線路線マップ…13

敦賀
駅交流施設
オルパーク



2015年10月に新しくなったJR敦賀駅構内にある敦賀駅交流施設オルパークは、ギャラリーや多目的室、休憩室などを備えています。レンタサイクルもあるので、常駐しているコンシェルジュに尋ねてみてください。

シンボルロードと呼ばれる敦賀駅から気比神宮にかけて続くアーケードには、至るところに「銀河鉄道999」や「宇宙戦艦ヤマト」など松本零士氏の作品をモチーフにした銅像が置かれています。敦賀は日本海側で最初に鉄道が敷かれ、欧亜国際連絡列車が走るなど、日本でも有数の交通の要衝でした。それにちなみ、1999年に敦賀港開港100周年を記念して、「科学都市・港・駅」と将来の敦賀をイメージして作られたそうです。



メーテルと
鉄郎!

松本零士の銅像



氣比神宮

木造でいちばん古く大きな鳥居がある氣比神宮。重要文化財にも指定されている真っ赤な鳥居をくぐると、思いきり息を吸い込みたくなるような清々しい空気に包まれます。平日でも多くの参拝客でにぎわい、境内では結婚式が行われることも。また、パワースポットとして有名な「長命水」もあります。敦賀まつりのときには、参道いっぱいに出店が並ぶそうです。



敦賀まち歩き

博物館通りの賑わいに次いで、赤レンガ倉庫のリニューアルと話題にことかかない敦賀へ、電車に乗って行ってきました。新しくなったJR敦賀駅から赤レンガまで、街を歩いて海を眺めるプチトリップに出発!



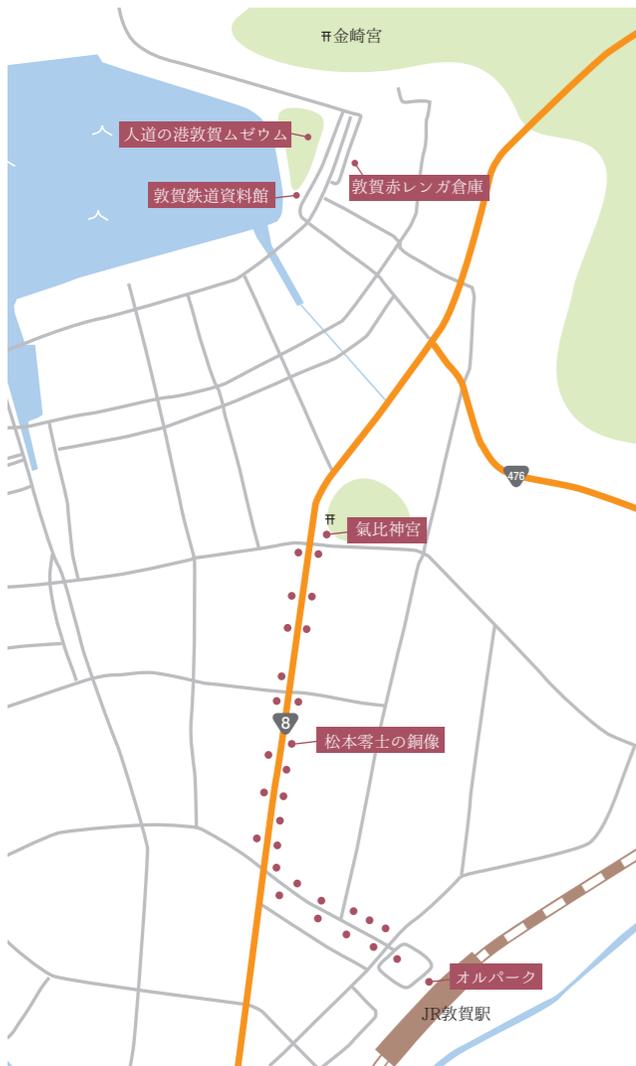
Train Trip
Obamasen

model | sae okano



ボードウォーク

赤レンガの目の前にある海沿いに敷設されたボードウォーク、ボードデッキからは敦賀港を一望することができます。かつて、この港から欧亜国際連絡列車に乗って、多くの日本人がパリへ向かったんだと過ぎし日に思いを馳せて、のんびり散策。



人道の港
敦賀ムゼウム

1940年、リトアニア領事館であった杉原千畝氏が発行した「命のビザ」により、国際港・敦賀に辿り着いたユダヤ人難民約6000人が命を救われました。当時の証言や資料が展示してあります。

敦賀市金ヶ崎町44-1 TEL.0770-37-1035
開館時間/9:00~17:00 休館日/12/29~翌1/3



敦賀鉄道資料館

欧亜国際連絡列車の発着駅として、多くの人々や文化を運ぶ重要な位置を占めていた敦賀港駅を再現したものです。敦賀港の歴史や貴重な鉄道資料が展示されています。

敦賀市港町1-25 TEL.0770-21-0056
開館時間/9:00~17:00 休館日/毎週月曜、12/29~翌1/3



敦賀赤レンガ倉庫

100年余りの風雪に耐えた赤レンガ倉庫が“ノスタルジーと出会う場所”として、ジオラマ館とレストラン館を備え、2015年10月に生まれ変わりました。建設当時は石油貯蔵庫や昆布貯蔵庫として使われていたそうです。2009年には国の登録有形文化財にも登録されました。



レストラン館

アジアや大陸ヨーロッパを結ぶ港まちの歴史にちなみ、「海と港、国際性」をコンセプトとしたレストラン、カフェ、和食の3つのお店が軒を連ねます。レンガ造りの古き佇まいを最大限に活かし、敦賀の海山の幸をゆったりと楽しむことができます。



ジオラマ館

国内最大級の大きさを誇る鉄道と港のジオラマ「ノスタルジオラマ」は、蒸気機関車やスイッチバックの鉄道模型、自走式の船や自動車がとろせましと走り抜けています。何時間でも眺めていられそう!

敦賀の新観光スポット!



敦賀市金ヶ崎町4番1号
TEL 0770-47-6612
開館時間/[ジオラマ館]9:30~17:30 (最終入館は17:00)
[レストラン館]各店舗により異なります。
休館日/水曜日(祝日の場合その翌日)12/31~翌1/2



待合室
新平野駅、加斗駅



新平野駅



加斗駅

新平野駅と加斗駅のホームには今も木造の待合室が残っていて、板張りのベンチが懐かしい雰囲気を漂わせています。

木造駅舎
十村駅、加斗駅



加斗駅



十村駅

電化を機に徐々に新しいものに建て直された駅舎ですが、十村駅と加斗駅には今も木造の駅舎が残ります。

ホーム上屋
小浜駅



小浜駅

小浜駅改札前のホーム上屋を支える支柱には線路で使用した古いレールを再利用しています。

油庫
美浜駅、小浜駅、若狭本郷駅



美浜駅

美浜駅、小浜駅、若狭本郷駅のホームには昭和初期に作られたコンクリート製の可燃燃料庫(油庫)が残っています。

橋梁
黒河川、耳川、遠敷川など



耳川

河川を渡る橋の橋梁にはレンガ積みのもので多く残ります。黒河川、耳川、遠敷川など多くの場所で見ることができます。

小浜線 鉄道遺産

大正6年(1917年)に敦賀・十村間が開通し、大正11年には全線開通した小浜線。開業からおよそ100年、蒸気機関車から電車へと近代化を進めた小浜線ですが、今でも開業当時から残る鉄道遺産を見つけることができます。

「近代化遺産とは」
文化庁が保存活用を推奨するわが国の近代化に貢献した産業交通・土木遺産の総称で、鉄道遺産も含まれます。

レトロなレンガ造り



SL 給水塔 小浜駅

蒸気機関車には欠かせない大量の水を補給した給水塔。大正10年に作られ、ホームからレトロなレンガ造りの姿をよく眺めることができます。

青郷駅
山小屋の駅
Station
Obamasen

青葉山



青郷駅に併設されたログハウス調の観光振興施設「ロッジ青葉」。観光案内やレンタサイクルなどが利用できる。
利用時間 8:30～17:00 水曜定休 TEL:0770-72-0306



山小屋風

木のぬくもりを感じる駅構内。ギャラリーをのぞいたり、青葉山を眺めながら、のんびり電車を待つ時間も楽しい。



天井にはどこか懐かしい照明が取り付けられ、ノスタルジックな感覚を楽しめる。



ホームが高い!

駅舎に対して、ホームはとても高いところにあるがスロープがついて、車いす利用者も使いやすくなっている。



ヤッホー!



若狭富士を望む最西端の駅舎

高浜の象徴として知られる青葉山。福井県と京都府の境に位置する正三角形の優雅な姿は、若狭富士とも呼ばれ人々に親しまれています。その美しい姿を望むように佇む、福井県最西端の青郷駅はログハウス調のユニークな建物です。

青郷駅は平成15年に改築され、観光振興施設「ロッジ青葉」と名付けられました。丸太を使った自然を感じられる施設で、構内には高浜の観光・レクリエーション資源をPRするギャラリーや観光案内所、多機能トイレ、レンタサイクルなどが整備された地域の総合的な窓口です。また、青郷駅のホームは敦賀方面に向かって二面二線となっています。改築に伴いスロープも新設され、車椅子利用者をはじめとした身障者もホームと駅舎を段差なくスムーズに行き来できるようになりました。

青葉山登山へも麓にあるこの駅が出发点。標高693m、約400万年前の火山活動によってできた青葉山の山頂付近は険しく、泰澄大師が開山以来、行者達の厳しい修行の場であったようです。しかし、登ってみれば、山頂の西峰付近では眼下に内浦湾が望め、遠くには敦賀半島や越前岬、振り返れば丹波の山々が見渡せます。電車に乗って青郷駅から青葉山へ、絶景を体感しに行ってみては。

見かけたら
ラッキー!



Obamasen Topics

ラッピング車両が登場!

福井県嶺南各市町を代表するゆるキャラ6体をデザインしたラッピング列車が登場!若狭地方の海山を背景にゆるキャラの走る姿が描かれています。
運行期間は2018年夏ごろまで。敦賀～東舞鶴(一部列車は西舞鶴まで)を一日1～3往復します。

うみりん
おおい町マスコットキャラクター



おおい町の豊かな自然をモチーフに誕生。海と森林からネーミング。

わかさ梅ぼう
若狭町マスコットキャラクター



若狭町特産の「福井梅」をPRするために生まれた青梅の妖精。わかさ梅じいというおじいさんも存在。

ツヌガ君
敦賀市マスコットキャラクター



敦賀の名前の由来になったツヌガアラントからネーミング。



赤ふん坊や
高浜町マスコットキャラクター



海水浴で有名な高浜町を赤いふんどし姿で元気にPRしています。

さばトラななちゃん
小浜市マスコットキャラクター



鯖街道の起点でもある鯖のまちとしての知名度アップに誕生。

へしこちゃん
美浜町マスコットキャラクター



美浜町の伝統料理「へしこ」をより広くPRするために誕生。

アンティークの器で
食事ができます!



Obamasen Gourmet

アンティークカフェ あさい



素材にこだわった
からだがよるこぶランチ

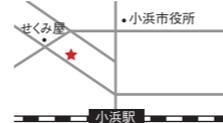
小浜駅から徒歩3分ほどの商店街にあるアンティークカフェあさいは昔銀行だった建物を利用したカフェ。重厚な外観や金庫にその名残が見られ、応接室は昔のままカフェの一部として使われています。

ここでは野菜中心のランチが人気。直接、農家から仕入れたり、スイーツに使う卵は平飼い鶏のものと食材選びからこだわり、コーヒーや紅茶は汲んできた地元の名水「津島湧水」で淹れられます。

カフェにはアンティークのものが多く飾られていて、もちろん食事はその器でいただきます。食器の多くは江戸・明治期に日本で作られたもので「今のものにはない、当時の作り手のあたたかみが伝わってくる」のが魅力だそう。時を経て味わいを増すアンティークの魅力に触れながら、からだに優しいランチタイムを過ごしてみよう。



アンティークカフェ あさい
小浜市小浜酒井1
TEL. 0770-52-0081
営/10:00~18:00
休/月曜・火曜



Obamasen



小浜線のある風景・暮らし写真を募集します。

電車・ホーム・駅やその周りの風景など暮らしの中の小浜線をイメージする写真をお送り下さい。



応募方法：【メールの場合】件名を「小浜線のある風景・暮らし」として、1件に1枚を添付してください。

メール本文に写真のタイトル、撮影日、撮影者(本名)、住所、連絡先を明記してください。

【プリントの場合】メールと同様の内容を明記して2Lサイズでご応募ください。作品は返却できませんのでご了承ください。

応募締切：平成28年2月29日(月)

応募先：917-8585 福井県小浜市大手町6-3 小浜市人口増未来創造課 小浜線利用促進協議会事務局「小浜線のある風景・暮らし」係

TEL0770-64-6008 FAX0770-53-0742 メールアドレス koutsu@city.obama.lg.jp

その他：お送りいただいた個人情報は、写真活用に関してのみ利用させていただきます。



ご応募いただいた中から、優秀な作品は小浜線利用促進に関する事業に活用させていただきます。また、活用された方には、小浜線特注チョコQなどの粗品をプレゼントさせていただきます。

□発行 小浜線利用促進協議会

□編集・制作 東雲デザイン

□お問い合わせ 小浜線利用促進協議会 事務局 〒917-8585 福井県小浜市大手町6-3 小浜市役所 人口増未来創造課内 TEL 0770-64-6008

小浜線沿線の資料館・博物館



敦賀市立博物館

昭和2年に竣工した旧大和田銀行本店の建物を活用した博物館で、平成27年7月にリニューアル。銀行として営業していた当時の設備を再現するとともに、敦賀の歴史を概観できる展示を行っています。

🚶 最寄駅：敦賀駅 徒歩25分(タクシー約5分)

☎ TEL.0770-25-7033



若狭三方縄文博物館

三方湖のほとりにある、鳥浜貝塚等から出土した丸木舟や、土器等多数展示している他、勾玉作りや火おこし体験が楽しめます。

🚶 最寄駅：三方駅 タクシー約5分

☎ TEL.0770-45-2270



郷土史料館・美術記念館

1階は、おおい町が生んだ彫刻家 松木庄吉が残した作品をブロンズ化して展示した美術記念館となっています。2階は、町の歴史を資料と映像で紹介する郷土史料館となっています。

🚶 最寄駅：若狭本郷駅 徒歩15分

☎ ハヶ峰家族旅行村 TEL.0770-77-2820

※開館時間、休館日等は、各施設にお問い合わせください。

Recommended Spots Obamasen



若狭国吉城歴史資料館

平成21年春に開館。戦国時代の山城で、越前朝倉氏を撃退し、織田、豊臣、徳川の三英傑を迎えた国吉城址と、その城下町として開かれた佐柿の歴史をご紹介します資料館です。

🚶 最寄駅：JR美浜駅 車で約7分

☎ TEL.0770-32-0050



福井県立若狭歴史博物館

仏像や祭りなどの文化とそれらを育んだ若狭の歴史を豊富な資料でわかりやすく紹介しています。歴史文化観光のための情報を得ることができます。

🚶 最寄駅：東小浜駅 徒歩約10分

☎ TEL.0770-56-0525



高浜町郷土資料館

祭りや民俗・美術工芸、考古、中世の三つの展示室と2つのギャラリーで高浜町の歴史と文化を紹介しています。また、町内の埋蔵文化財をはじめとする文化財保護行政の拠点としての役割も担っています。

🚶 最寄駅：JR若狭高浜駅から徒歩10分

☎ TEL.0770-72-5270